

8/31  
(土)

琴浦公民館 人権教育講演会

# あなたにとっての幸せって？

～音楽と名言の朗読をとおして～

## 参加者の感想

●日々の生活を振り返りながら、ゆったりと音楽と名言の朗読を聞かせていただきました。朗読の内容は、どれも心豊かに生きるためのヒントが一杯で、自分一人だけでなく、ともに幸せになることの素晴らしさを感じました。

●高杉先生の素晴らしいさわやかな朗読に、朝田先生のBGMのマッチング、感動しました。楽しいお話（朗読）と音楽は、心を豊かにする何ものでもありません。本当にありがとうございました。

●穏やかな気持ちになれた講演会でした。お二人の方の情熱を感じました。これからのご活躍を期待しています。

●自分も普段からプラス思考を心がけています。先生のお話は納得でき、自分を後押ししてくれるようでした。素敵なお話素敵なお演奏で、心が満たされました。

講師 朝田 恵利 先生  
高杉 紀子 先生



9/8  
(日)

唐琴公民館 人権教育講演会

# 香港から見た日本

～日本人学校の勤務から～

講師 倉敷市立琴浦西小学校 教務主任 山本 純平 先生

## 参加者の感想

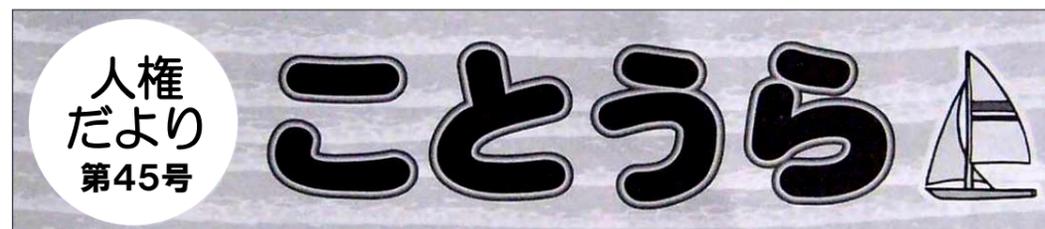
●日本とは違った環境での教育は、難しいと思っていました。今回の講演会で、その環境に合った教育が大切であると思いました。

●異文化を知ることができ自分の視野を広げることができました。写真や具体的なグッズを使っての話で、とてもわかりやすかったです。

●他国での教育や生活の様子がわかりました。若い人たちのエネルギー、自分の国に対する関心の高さを知ることができてよかったです。



編集後記：本年度も、行事に参加された感想や原稿をお寄せくださり誠にありがとうございました。また、「人権だより」の配付・回覧につきましても、大変お世話になり、感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。（事務局）



人権  
だより  
第45号

発行  
令和2年3月1日発行  
琴浦中学校区  
人権学習推進委員会  
事務局  
琴浦公民館  
倉敷市児島下の町9-2-27  
TEL・FAX 086-473-0080

中学校区テーマ

重点課題

人権をたいせつにしあう明るい地域—琴浦—  
元気で明るい子どもを育てよう

## マスコットキャラクターの色ぬりに挑戦



ふわふわちゃん

琴浦中学校区人権啓発マスコットキャラクター「ふわふわちゃん」は、琴浦中学校の生徒がデザインし、中学校区4小学校の児童からの応募によりネーミングされたものです。今年はこの「ふわふわちゃん」の色ぬりに琴浦中学校区内の7つの保育園・幼稚園・認定こども園の園児が挑戦しました。みんなで仲良くしようという思いをこめていねいに塗っていききました。その後各園で展示しました。

## 人権ポスター展示

人権学習推進委員会で募集し、各校の代表として提出された26作品を9月13日から1月26日まで、琴浦公民館・琴浦南小・琴浦中・琴浦東小・琴浦西小・琴浦北小・唐琴公民館の順に展示をしました。各校では児童・生徒・保護者に、公民館では講座やグループで来館される地域の方に見ていただきました。児童・生徒の力作を見てもらうことで、人権啓発にもつながったと思います。



## 人権メッセージ

# 自分を大切に

琴浦北小学校校長 坪井 伸治



「校長先生。グッドビハイビーカーカードが10枚集まりました。」  
校長室に、かわいいお客さんが時々やって来ます。「グッドビハイビーカーカード」・・・聞いた方もおられると思います。平成29年度から琴浦中学校区で取り組んでいるものです。昨年、琴浦中学校区の人権研修会で、倉敷市立西中学校 松本一郎校長先生から、「人権教育は、自分の大切さとともに他人の大切さを認めること。自分が好きだとはっきり言える児童生徒を育成することである」というご講演をいただきました。つまり、「自分自身を大切に思い、自分自身に優しい人は、他人を大切にし、他人に優しくできる」ということです。

琴浦北小学校でも、児童の思いやりのある行動を見かけたとき、教職員がこのカードに書き込み、担任の先生を通じて渡しています。カードをもらったときの、子どもたちのうれしそうな表情がなんともいとおしいです。

- 給食時間、クイズを出してくれたり、本の読み聞かせをしてくれたりして、ありがとうございます。
- 何でも話しやすい雰囲気、環境を作ってください、ありがとうございます。これからも、よろしくお願いします。
- なかよし集会での心に響く読み語りと「茶つみ」の美声、感動しました。「ピンチをチャンスに」という心の強さ、フットワークのよさ。すばらしいです。

これは、児童や教職員が私にくれた「グッドビハイビーカーカード」で、ずっと大切にっています。大人も子どもも一緒に、「しかられるよりほめられたほうがうれしい」に決まっています。自分を大切にされた経験がなければ、他人のことを大切にすることは難しいことです。自信が生まれるのは、安心できる場所がある、プラスに見てくれる人がいるという経験があるからだと思います。そのためには、学校でも家庭でも、私たち教師も親も、子どもとお互いにじっくり向き合うこと、そして、子どもに対してだけでなく、大人に対しても、欠点を探すのではなく、長所を探ることが大切なのではないでしょうか。それが、私たちみんなのやる気や勇気、可能性を引き出すことにつながっていくように感じます。これからも、だれにでも、自分はかけがえのない大事な存在だと思えるように、自分を大切に思えるように、声かけをしていきたいと思っています。

## 啓発・広報活動



11月3日（日）に琴浦中学校区青少年を育てる会の主催による「由加山ふれあいハイキング」が開催されました。今年も人権学習推進委員で、〇×クイズ入りの「人権ポケットティッシュ」をハイキングのゴール受付周辺で、「人権クイズにも挑戦してください。」と声をかけながら配付しました。

また、12月4日から12月10日までの人権週間に唐琴公民館で琴浦中学校区5校の人権ポスターの優秀作品を掲示しました。作品を見に来られた方へも啓発用ポケットティッシュと人権だよりを配付しました。

## 人権ふれあい喫茶



琴浦公民館では、公民館建て替えに伴うさよならウィーク（9/25～29）を、唐琴公民館では、公民館文化祭（11/16, 17, 24）を行いました。地域の方が多く来館されるこのときに、交流を深めてもらうとともに人権について考えてもらえるように、「人権ふれあい喫茶コーナー」を設けました。また、喫茶コーナーの近くに人権だよりや人権講演会・人権学習推進委員会の研修視察の写真等を掲示し、話題にしてもらえるようにしました。



琴浦公民館



唐琴公民館

## 田の口保育園



## 心を育てる～毎日の生活の中で～

田の口保育園では、生後6か月から就学前の子どもたちが生活しています。0～1歳の入園間もない子どもたちは一人ひとりの様子に合わせて、食事を食べさせてもらったり、排泄を補助してもらったりと大人の手助けが必要です。「おしめきれいにしようね」「ごはん、おいしいね」「〇〇ちゃん、大好き」・・・保育士から優しく言葉をか

けられ、子どもたちは安心して、身を任せたり、落ち着いて食事に向かったりして安定して生活する様子が見られます。自分の思いを押し通して泣くこともありますが、保育士は子どもの気持ちに寄り添って抱っこをしたり、時間をかけて見守ったりしています。何気ない日常の一場面ですが、身近な大人からの優しい語りかけ、温かい肌の触れ合い、共に楽しむ遊びの経験など、保育園での日々の営みは、子どもの健やかな心の育ちを支えていると思います。

